

# 第15回 日本免震構造協会賞 - 2014 -

第15回日本免震構造協会賞は、右の8件に決定した。

## 表彰制度の目的

免震構造の技術の進歩及び適正な普及発展に貢献した者並びに建築物を表彰することにより、免震技術の確実な発展と安全で良質な建築物等の整備に貢献していくことが本協会の表彰制度の目的である。

## 表彰の対象

功労賞は、多年にわたり免震構造等の適正な普及発展に功績が顕著な個人に、技術賞は、免震建築物等の設計・施工及びこれらに係る装置等に関する技術としての優れた成果を上げた個人、法人及び団体に、作品賞は、免震構造等の特質を反映した優れた建築物の実現に携わった個人、法人及び団体に、普及賞は、免震建築物・免震啓発活動・免震に係わる装置等により免震構造等の普及に貢献した個人、法人及び団体に贈る。

## 表 彰

2014年6月11日

一般社団法人日本免震構造協会通常総会後

## 一般社団法人日本免震構造協会表彰委員会委員

深澤義和（委員長） 安達 洋 丑場英温  
川口健一 篠崎 淳 細澤 治 真部保良  
渡邊眞理

## 審査経過

本年度の功労賞は、多年にわたり免震構造等の適正な普及発展に功績が顕著である寺本隆幸氏を選考した。

技術賞には4件の応募があった。4件ともヒアリングを実施し、「東北地方太平洋沖地震を経験した免震U型ダンパーの残存疲労性能の調査及び残存疲労性能評価法の確立」を免震構造等に関する技術としての優れた成果をあげたものとして技術賞に選考した。また、普及賞に応募のあった「岐阜市民病院」についてはヒアリングを実施し、これも優れた成果を上げたとして技術賞に選考した。

作品賞には12作品の応募があった。すべての応募作品について現地調査、ヒアリングを実施し、「東京駅丸の内駅舎保存・復原」「清水建設本社」「中之島フェスティバルタワー」の3作品を免震構造等の特質を反映した優れた建築物として作品賞に選考した。

## 選考結果

第15回日本免震構造協会賞受賞は下記の8件である。

### I 功労賞

- 1) 寺本隆幸

### II 技術賞

- 1) 東北地方太平洋沖地震を経験した免震U型ダンパーの残存疲労性能の調査及び残存疲労性能評価法の確立  
新日鉄住金エンジニアリング株式会社

小西克尚	川村典久
株式会社日建設計	村上勝英 染谷朝幸
東京工業大学	山田 哲

- 2) 「岐阜市民病院」免震・制振技術を活用した特殊工法による病院の改築

株式会社山下設計	早野裕次郎	立川 淳
	朝倉純一	沢崎詠二

### III 作品賞

- 1) 東京駅丸の内駅舎保存・復原

東日本旅客鉄道株式会社	東京工事事務所	鎌田雅巳	金森勇樹
株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所	田原幸夫		
株式会社東京建築研究所	蓮田常雄		
鹿島建設株式会社	金丸康男		

- 2) 清水建設本社

清水建設株式会社	小川哲也	竹内雅彦	中川健太郎
	島崎 大	金子裕介	

- 3) 中之島フェスティバルタワー

株式会社朝日新聞社	曾根宏司	
株式会社日建設計	吉田 聡	岡田 健
近畿大学	阿波野昌幸	
株式会社竹中工務店	山本啓介	

### IV 普及賞

- 1) 木造建物の免震レトロフィットー製粉ミュージアム本館ー
- 2) 御茶ノ水ソラシティ

(敬称略)

普及賞には2件の応募があったが、そのうち、岐阜市民病院については、前述のとおり技術賞に選考した。また、技術賞応募案件より「木造建物の免震レトロフィットー製粉ミュージアム本館ー」については、免震構造等の普及に貢献したとして普及賞に選考した。さらに、作品賞に応募のあった「最先端技術の統合で実現した都市型再開発建物の設計および施行（御茶ノ水ソラシティ）」についても普及賞にふさわしいとして選考した。

本年度は作品賞12件をはじめとして多くの優れた業績の応募があった。今後とも多数の応募を期待している。

(深澤義和)